



定期委員会で出された職場の怒り その③

社員の生活より列車運行を優先する会社姿勢に怒り!

～車両検修職場における空調装置交換作業時の問題～

ある検修職場において、列車の空調装置の状態が良くなかったため、1月31日の月検査終了後に超勤帯で交換する計画を立てた。しかし当該列車に乗務するスタッフより空調の効きが悪い申告があったため、空調装置の交換を前倒して1月27日夜に行う計画に変更。

しかし1月27日に交換作業を行う作業者がいなかったため、当初の予定である31日の月検査終了後施工に変更した。ところが27日夕集で副長が「1月31日に交換作業を行う」話をしたところ、科長から「**何で今すぐやらないのか!**」と話がされ、計画性がないままその日の夜に交換作業を行うことになる。



科長の一言で計画をコロコロ変えられ作業者はたまったもんじゃない!



27日の運用は夜20時に作業場に入場する運用。しかも31日⇒27日に急遽変更された上で作業者を招集したため、作業責任者含めて未経験者ばかりで作業する事になる。また当該列車の空調装置交換自体が初めての作業であり、安全作業ができない懸念がある中での作業となった。

計画性がなく作業者が集められ、経験者がいない中で安全な作業はできない!

慣れない作業であったため、作業場の疑問・やり直しのトラブルが発生し、午前0時30分に作業終了となる。その結果作業者が帰れる終電は無くなった。そのまま午前0時30分に勤務解放となり副長は帰った。作業者は構内事務所での仮眠も進められたが、最終的には事務所や会議室で一晩明かして始発電車で帰った。



終電が無くなり帰れなくなったのに、「勤務解放」はいかがなものか!

社員の生活・安全作業より、自己保身を優先する会社姿勢に怒り!
再発防止に向け、職場からの議論で安全な職場を創り出すぞ!